

目次

- [日本学校ソーシャルワーク学会第9回大会開催のお知らせ・大会長挨拶](#)
- [大会プログラム](#)
 - [研修\(基礎研修・専門研修\)](#)
 - [基調講演、大会シンポジウム](#)
 - [口頭発表、課題別研究](#)
 - [大会参加申込方法等](#)

日本学校ソーシャルワーク学会第9回大会

2014.07.12(SAT)・13(SUN)

立命館大学朱雀キャンパス

(〒604-8520 [京都市中京区西ノ京朱雀町1](#) JR二条駅前)

■ 大会テーマ

学校におけるソーシャルワーク再考
ーソーシャルワークと福祉課題の見直しー

■ 挨拶

本学会の10年の節目を迎えるにあたり、あらためて学校におけるソーシャルワークの意味や原理と課題とを再考してみたいと思います。

大会時の京都は、むし暑く、最悪の時期ですが、なればこそ、夏の疫病退散を祈願する祇園祭の時期でもあります。14日からは、宵宵宵山、宵宵山、宵山、巡行と、連日の祭りとなりますが、大会日程は、組押立てられた山鉾の「曳手始め」の予定日です。それも目当てに、是非京都においでください。

なお、この時期の宿は確保が難しく、値段も高い場合があり、大阪北部や滋賀県でも1時間以内の宿が有りますから、来られる可能性があれば、宿の確保だけは先にお願します。

大会長 野田 正人(日本学校ソーシャルワーク学会副代表理事、立命館大学教授)

■ 主催

日本学校ソーシャルワーク学会

■ 共催

立命館大学大学院応用人間科学研究科

■ 大会プログラム

第1日目(7月12日(SAT))

時間	内容
10:00-12:00(受付:9:30)	<p>【大会事前企画】基礎研修・専門研修(※受講者には、本学会の研修証明書を発行します)</p> <ul style="list-style-type: none">基礎研修「スクールソーシャルワーカーが理解しておきたい法制度(仮題)」 講師:梅山佐和会員(立命館大学、京都市教育委員会SSW) コーディネーター:出嘉昌哉理事(沖縄国際大学沖縄県教育委員会SSW・SV)<ul style="list-style-type: none">研修のねらい:ソーシャルワーカーが制度や法の枠組みを理解しておくことは基本です。福祉に関わる法制度の理解はもちろんですが、教育、その他の法制度との関連や相違を把握したうえで、より適切なSSW実践が可能になることを理解してもらう研修にしたいと考えています。受講資格:特になし参加費:1000円(当日支払)専門研修「地域を基盤としたソーシャルワーク(仮題)」 講師:岩間伸之氏(大阪市立大学) コーディネーター:佐々木千里理事(京都市教育委員会他SSW・SV)<ul style="list-style-type: none">研修のねらい:「ソーシャルワーク」について学び直し、ミクロからマクロまで見通したスクールソーシャルワークについて、参加者それぞれが改めて理解を深める研修にしたいと考えています。受講資格:学会会員定員:30名参加費:1000円(事前振込)申込方法:大会事前申し込み期間内に、受講申込メールを送信(※1)のうえ、大会参加費振り込み時に、「専門研修受講料1,000円」と明記して、他の参加費と合わせて入金してください。申込専用アドレス:sswkensyu@gmail.com※1:メールには、①件名:専門研修申込、②氏名、③所属、④連絡先(住所及び連絡可能な電話番号)を明記 <p>【注意】専門研修は定員に選んだ段階で募集を終了します。そのため、期間内に申し込みをされた方でも受講ができない場合があります。必ず学会ホームページ等で募集状況を確認のうえ、受講申し込みを行ってください。</p>
12:00	本大会受付
13:00	開会行事
13:15	【基調講演】「学校のできる家族支援と福祉」 立命館大学応用人間科学研究科教授 仕事場DAN 団士郎氏
14:30	【企画シンポジウム】「学校におけるソーシャルワーク再考-ソーシャルワークと福祉課題の見直し-」
17:00	年次総会
17:30	情報交換会(懇親会) 『京野菜ダイニングTAWAWA二条店』※立命館大学朱雀キャンパス7F

第2日目(7月13日(SUN))

時間	内容
9:30-12:10	<p>口頭発表(研究発表・実践報告)</p> <p>口頭発表(研究発表・実践報告)の申し込みを希望する方は、下記要領にて発表原稿を作成のうえ、2014年5月9日(金)までにE-mailにて原稿データを大会事務局まで送付してください。</p> <p><応募要項></p> <h3>1. 発表の応募資格</h3> <ol style="list-style-type: none">応募の時点で本学会の会員(2014年度までの学会費納入者)の資格を有する者。共同発表の場合は、応募の時点で1名でも1)に該当しない場合は、申し込みを受理することはできません。発表応募者(共同発表者を含む)は、2014年6月13日(金)までに大会参加費の振り込みを完了してください。1から3の条件を充たさない場合は、発表を取り消すことがあります。 <h3>2. 発表の応募方法</h3> <ol style="list-style-type: none">大会事務局までメール(m-urata@kuad.kyoto-art.ac.jp)にてお申し込みください。

2. メールには、①件名:口頭発表申込、②氏名、③所属、④連絡先(住所及び連絡可能な電話番号)、⑤発表種類(研究発表・実践報告)、⑥題目、⑦共同発表者氏名(単独の場合は不要)、⑧パソコン使用の有無を明記して送信してください。

3. 発表原稿(要旨)作成上の留意事項

1. 口頭発表は未発表のものであること。
2. 口頭発表は、1会員1演題に限りです。そのため、応募については必ず筆頭発表者が行うようにしてください。
3. 同一テーマによる発表は、「その(1)」「その(2)」までとします。ただし、内容が別の研究と認められる場合に限りです。当日の発表においても、各々が独立した発表として行うため、時間を連続して発表を続けることはできません。
4. 今大会より口頭発表は、**自らの研究の成果を発表する「研究発表」と自らの実践を報告する「実践報告」**の2種類とします。発表応募者は、発表の種類を選択したうえで発表原稿を作成してください。
5. 要旨は学術的文献として公表されます。内容を十分に時味したうえで、研究発表については、原則として、研究の目的、方法、倫理的配慮、結果、考察、結論等の各項に分けて記述してください。この形式で作成されていない発表原稿については、発表を認めない場合もあります。
6. 口頭発表の可否は、理事会での審査により決定されます。その際、要旨の内容により、発表の種類を変更してもらう場合があります。
7. 研究倫理上の問題がある発表や個人の著作販売を目的とする発表等は、発表後であってもそれを取り消す場合があります。
8. 口頭発表が決定した後、急なキャンセル等をされないように留意してください。

4. 発表原稿(要旨)の作成要領

1)原稿用紙

要旨は、A4版2ページで作成すること。字数は目安として、本文3,358字(23字×146行)となります。本文とは別に、文頭6行を題目・発表者氏名・所属機関・キーワードを挿入してください。具体的な記載例は、4月以降に大会事務局が発送する大会要項の「発表原稿の書式」を参考にしてください。なお、連名発表者がいる場合は、筆頭発表者氏名の前に○印を付けてください。また、本文の最後に発表者氏名をローマ字にて記載してください。

2)図・表

図と表は最小限に止め、写真は使用しないようにしてください。

3)事例

事例等の記述については、プライバシー保護の観点から、関係者からの承諾等の基本的な倫理規定を遵守してください。なお、要旨には倫理的配慮の内容を明記してください、記載内容が不十分な場合や記述がない場合は、発表が採択されないことがあります。

5. 発表原稿(要旨)の送付方法

発表原稿は、Wordで作成したものを大会事務局(m-urata@kuad.kyoto-art.ac.jp)までメールで送付してください。PDFファイルでは送付しないように注意してください。

12:20- 地区世話人会議

13:00

13:00 課題研究分科会

第1分科会「若者の生きづらさと支援—高等学校段階でのSSWを考える—」

【趣旨】

スクールソーシャルワーカー(以下、SSW)の必要性と広がり、小・中学校段階だけではなく、大学におけるキャンパスソーシャルワーカーなどの実践も報告され、本学会のこれまでの全国大会においても、課題研究として深められてきている。

一方で、現代社会における若者の問題は深刻化しており、時に若者の貧困として語られ、また時に発達障害などの特別支援の枠組みで語られてきているが、いずれも社会との接合の難しさが指摘されている。高等学校は義務教育段階ではないが、高校進学率が定時制・通信制を含めると98%を超えている現状にあっては、高校での学生支援は、子どもたちを社会に繋げていくうえで重要な位置を占めている。

本課題研究では、義務教育終了後の高等学校段階における若者の現状について、特に生活困窮や障害などの社会的な困難さとの関わりで検討し、学校として、SSWとして、またNPO活動や地域としての支援について、フロアのみならずととも議論を深めていきたい。

第2分科会「スーパージョンのあり方とSSWの発展—事業管理のバリエーションにも着目して—」

【趣旨】

スクールソーシャルワーカー(以下、SSW)事業は、まだ十分確立されたとは言い難く、いくらSSWが有能であっても発展が困難な場合があり、SSWを生かせる事業主体による仕組み作りが重要です。つまり、スーパージョ(以下、SV)にはソーシャルワーカーに関するSVのみならず、事業管理に関するSV(システムSV)が必要ではないかと思われます。

そこで、機能的に発展を進めているSWに関するSVとシステムSVという双方の視点でご発表いただき、検討していく課題別セッションを企画しました。教育委員会の方にもこの視点でご発表いただきます。参加者の皆様とともに、今後、さらにSSW事業が発展していくことにつながる議論ができればと思います。

第3分科会「いじめ防止対策法と基本方針にSSWはどう取り組むか」

【趣旨】

2013年いじめ防止推進法(いじめ防止法)が制定、施行されました。同法第11条においては、文部科学大臣が、いじめの防止等のための対策を総合的かつ効果的に推進するための基本的な方針(以下「国の基本方針」という。)を策定することとされており、2013年10月に文部科学省が国の基本方針を策定しました。また各自治体でも、基本方針の策定や、条例制定の準備を行っています。そこで、本研究課題では、「いじめ」をテーマに、被害、加害、学校それぞれにどのような役割がはたせ、その際のスキルとして何が求められるかについて、フロアも交えて議論を深めたいと思います。

第4分科会「学校での児童虐待の通告にあたって—スクールソーシャルワーカーの見たて(アセスメント)と支援—」

【趣旨】

学校が虐待通告を戸惑うことへの対応も含め、スクールソーシャルワーカーはどのようなアセスメントを行い、通告に向けた役割を担っているのか。また、通告後はどのような支援を行っていくのか。発題者の実践報告から、参加者との意見交換を通してスクールソーシャルワーカーの児童虐待の通告にあたっての役割と支援を検討していくことが、本課題別研究の目的です。

大会前日自主企画(日本学校ソーシャルワーク学会第9回大会前日企画)

- 日時:2014年7月11日(金曜)13時30分～17時ごろ
- 場所:京都市内 四条烏丸 13時30分集合
- テーマ:「暑い京都にようこそ!～祇園祭と学校を作った町衆のエネルギーを感じるまちなか歩き～」
- 内容:祇園祭の「鉦建て」の見学(無料)、「京都市学校歴史博物館」の見学(入館料200円)

Information

1.参加費

1)前日企画(7/11)

- 京都市学校歴史博物館入館料:200円(当日)

2)研修参加費(7/12)

- 基礎研修:1000円(当日申込・支払)
- 専門研修:1000円(事前申込・振込)

3)大会参加費(7/12-7/13)

- 会員・一般:3000円(事前申込・振込)、4000円(当日申込・支払)
- 大学院生:2000円(事前申込・振込)、3000円(当日申込・支払)
- 学部学生:500円(事前申込・振込)、1000円(当日申込・支払)
- その他
 - 一般:1000円(当日申込・支払)
 - 1日目(基調講演・シンポジウム)のみ:1000円(当日申込・支払)
 - 情報交換会(懇親会):4000円(当日申込・振込)

※事前申込は、いずれも6月13日まで(厳守)です。なお、いったん納入された参加費は返却できません。

2.参加費支払方法

1)事前申込

事前申込振込口座(大会参加費申込専用)

- 郵便振替:00960-8-172900
- 口座名:浦田雅夫

※郵便振替用紙の通信欄に入金項目と金額、合計金額をもれなくご記入のうえ、指定口座にご送金下さい。

2)当日申込

大会当日に会場受付にて、現金でお支払いください。

3.お問い合わせ先

第9回大会事務局

〒606-8271 京都市左京区北白川瓜生山2-116

京都造形芸術大学芸術学部子ども芸術学科

大会事務局長浦田雅夫

TEL:075-791-8342

FAX:075-791-9224

E-mail:m-urata@kuad.kyoto-art.ac.jp

※大会事務局と学会事務局は異なりますので、お間違えないようご注意ください。

日本学校ソーシャルワーク学会事務局

〒825-8585 福岡県田川市伊田4395

福岡県立大学人間社会学部社会福祉学科奥村賢一研究室気付

TEL・FAX:0947-42-1426

E-mail:k.okumura@fukuoka-pu.ac.jp

ホームページ:<http://jssssw.com/>